

【北海道知事賞】

巡り巡る税金

小樽市立長橋中学校 二年

若菜 蒼來

「税金はただ払うだけのもの。」
私は税金に対してこう思っていました。この税金への考え方が変わったのは、この作文がきっかけです。「税についての作文。」私は税といわれて思いつくのは消費税くらいで、税のことはあまり知りませんでした。だから税について調べました。

身近なことという教科書が無償だということですが、でも、私に気になったのは、「ドクターヘリ」の運航費用が税金でまかなわれていることです。私の夢は、フライトナースになることなので、ドクターヘリについて興味があったからです。ドクターヘリは、患者負担がなく、無料です。なぜ無料なのかというと、私たちが払っている税金でまかなわれているからなのです。ドクターヘリの一機当たりの年間運営費は二億五千万円で、国民一人の負担額は一〇五円です。もし税金がなかったら、ドクターヘリは一時間飛んで五十万円ほどかかるそうです。そう考えると一〇五円は安いということがわかります。

ですが「ドクターヘリなんて滅多に乗ることがないので一〇五円を払うの？」と思う方もいるかもしれません。あなたのその一〇五円が、見知らぬ誰かを救うかもしれない、もし自分が事故にあってドクターヘリで運ばれることがあるかもしれない。こうして私たちが払

っている税金は、巡り巡って見知らぬ誰かを助けたり、自分に戻ってくるのです。

他にも、私たちが通っている学校の電気代や水道代も税金から払われていることがわかりました。社会人の方々は私たちの電気代や水道代に関係がないのに税金を払っているということになります。こう考えると感謝の気持ちでいっぱいです。

「税金はただ払うだけのもの」ではなく、「税金は自分や誰かのために払うもの」だと思いました。私が納めた税金があなたの助けになる、あなたが納めた税金が私の助けになる。税金は巡り巡ってたくさんの方の生活を支えています。

私のように「税金はただ払うだけのもの」でお金がなくなっているという悪いイメージを持っている方がいると思います。この作文を読んでその悪いイメージが良いイメージに変われることを願っています。

私たち中学生は、消費税しか納めることができませぬ。だから、今たくさんの人に支えてもらっているということへの感謝を忘れず生活していきたいです。そしてその分、大人になって税を納め、恩返しができるくらいなと思います。

「その税金が社会の支えになると信じて。」